



ヨゼフ アベイヤ 司教認可  
発行所 福岡教区本部  
福岡市中央区浄水通6-28  
発行人 浦川 務  
編集人 浦川 務  
TEL 092-522-4059  
FAX 092-523-2152  
振替口座 01760-6-20729  
カトリック福岡教区  
定価 1部70円

1月の意向

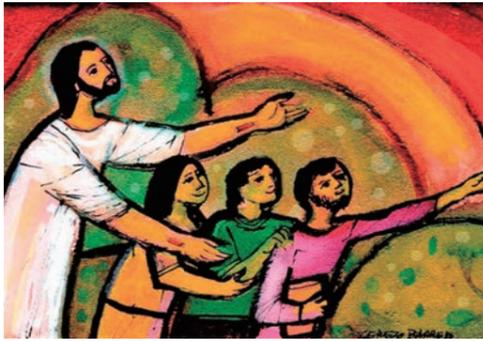
教皇の意向のために祈りましょう  
【教皇の意向】 みことばによる祈り  
【日本の教会】 平和と幸せ

新年巻頭言

ともに歩み続けましょう

ヨゼフ・アベイヤ司教 福岡教区長

主が御顔をあなたに向けて、あなたに平安を賜うように。(民数記6:24-26)



2025年を振り返って

「希望の巡礼者」として歩んできた聖年は閉幕しました。2025年は私たちの心に強く響く出来事が多かったように思います。戦後や原爆の80周年、長年教会を導き日

教区創立100周年に向けて

福岡教区として、2027年に祝う教区創立100周年の準備を続けてきました。2024年から2025年6月にかけて、「互いに支え合う交わりの教会となる」という教区の宣教司牧方針の一つの柱をテーマにしてさまざまな企画が行われました。

「ともに歩む教会」をシノドスの歩みへ 目指して、大事にしましょう

お互いに丁寧に耳を傾けて、神が兄弟姉妹をおしえて、何を語ってくださるかを祈りながら考えます。そして、謙虚に自分自身が祈りのうちに感じたことを皆と分かち合います。このプロセスを通して、新たな道が見えてきて、希望をもって歩み続けることができます。祈りが伴わないなら、自分のことばや態度は人を傷つけ、分裂をもたらします。聖霊の恵みは平安と喜びなのです。

今年も「ともに」歩み続けましょう。

ヨゼフ・アベイヤ

キリスト教一致祈禱週間 1月18日(日)～25日(日)

2026年テーマ 「からだは一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じです」(エフェソ4:4) キリスト教諸教会では、毎年この1週間を「キリスト教一致祈禱週間」と定めています。教皇庁キリスト教一致推進評議会と世界教会協議会は1968年以来、毎年テーマを決め、「礼拝式文」や「8日間の黙想と祈り」を作成しています。※掲載小冊子は右記QRコードからご覧ください。



【世界奉獻生活の日】感謝ミサ

聖ヨハネ・パウロ2世教皇は、主の奉獻の祝日である2月2日を「世界奉獻生活の日」と定めました。すべての信者は、奉獻生活の賜物を感謝し、この道を生きるように召されている兄弟姉妹のために祈る日になっています。福岡教区でもこの日を祝うためにミサを捧げます。(参加できない方のためには動画配信有り) <スケジュール> 日時: 1月31日(土) 14:00 感謝ミサ(司式:ヨゼフ・アベイヤ司教) 場所: カテドラル・カトリック大名町教会 ※動画は福岡教区ホームページ https://fukuoka.catholic.jp から右記QRコードからご覧ください。



能登半島地震から2年

2024年1月1日、日本中が新年の祝いでもぎわっていたときに、能登地方を襲った大きな地震から2年が経ちました。多くの方が今もなお、悲しみ、苦しみ、不安のうちに生活しておられることを心に刻み祈りましょう。すべての人の苦しみを担われ、復活の希望と光を示してくださったキリストが共にいてくださることを、私たちが証しできますように。(福岡教区災害被災者支援室)

時の話題

元日 世界平和の日

カトリック教会は、年の初めの日を「神の母聖マリアの祭日」と定めています。そして1968年、教皇聖パウロ6世は、この日を「世界平和の日」と定め、その上、この日の祈りに、毎年、特別な意向を含めるように提言されました。それを受けて、教皇レオ14世が、2026年元日「世界平和の日」の祈りに加えるようにお選びになった意向は、「武器を放棄し、武器を放棄させる平和を！」です。この言葉は、今も世界中の60余りの国々での戦争や地域での内紛が絶えない悲惨な状況を悲しむローマ教皇が、全世界の教会と平和を求め、すべての人々に向けて出している心の叫びです！元日には、多くの人々が神を参詣します。バチカンの諸宗教対話省は、毎年、元日に合わせて、神道の皆さまへ新年メッセージを発しています。カトリック教会の信仰をいただいている私たちは、元日の「神の母聖マリアの祭日」また「世界平和の日」に合わせ、「平和の女王」である聖マリアの取次によって祈りを捧げ、そして、神道やその他の宗教の人々とともに、あらゆる戦争と紛争がひと時も早く無くなくなり、世界に平和が実現しますようにと二つの祈りを一つに合せて祈りましょう。昭和10年(1935年)に生まれた私には、第二次世界大戦の思い出がいっぱいあります。その中で、隣の家に住んでいたある母親の悲痛な泣き声は今も、心の中に聞こえてきます。泣き声は、ご子息が、戦死したという知らせを受けたときでした。世界には今なお、多くの国で戦争や紛争があります。すべての人の母であるマリア様とともに「平和の祈り」を捧げましょう！明けましておめでとうございませう！

ともだちのみなさん



子どもたちやベトナムの青年たちと(菊池教会司牧訪問にて)

わたしはさまざまなきょうかいをたずねるときに、みなさんとあうことをたのしみにしていきます。じしやをやってくれるのもたがいます。とてもうれ

ときがあるとおもいます。そんなときも、かみさまは、ずっとあなたをたのみまもつてくださいます。にちようびに、きようかいにあつまつてかみさまにかん

しいです。げんきがでまぎやくに、こどもたちがいないときびしくかんじます。きつとイエスさまもそうだったとおもいます。みなさんはまいにち、いえにいたり、がっこうでべんきようしたり、ともだちとたのしくすごしたりする



楽しい分かち合いのとき(菊池教会司牧訪問にて)

しゃします。そして、また、あたらしいいっしゅうかんのあいだをみまもつてくださいたいのであります。きようかいでいっしよにおいのりしたいのです。これからもみなさんにあうことをたのしみにしていきます。ヨゼフ・アベイヤ

みづくせ

私たちは日常生活において言葉を用いて意思を伝え、他者を理解し、その心に触れることが出来ます。私たちの意思は言葉となって表現されますが、それは「おと」として発せられ、文字によって表されます。私たちが発する音としての言葉は、「平仮名」「カタカナ」「漢字」を用いて文字になります。「平仮名」「カタカナ」は「おと」で表すことが出来ますが、意味を表すことにおいて不十分なものです。なぜなら、同じ文字で異なったものを表すからです。しかし、表音文字だけでは曖昧なものも「漢字」を用いることによって、言葉は具体性を増し、理解を助けられます。▼私たちが、「ひと」と呼ばれ、「にんげん」とも呼ばれます。そして、それぞれ「人」と「人間」と表記します。私たちがこのように表記する漢字は、私たちがどのようなものであるかを如実に表しています。つまり、私たちは、お互い支え合うものであり、常にだれかの間にあり、包まれながらだれかを包む、関わりと絆のうちに歩むものだからです。▼私たちは、新しい年の扉を開きました。2027年7月16日に教区創立100周年を迎える私たちは、3年間の準備の期間の折り返し点にあります。今年の7月より、最後の準備として『出向いて行く教会』となる。掲げて歩みだすことになりました。7月までの期間に「未来に開かれた教会となる」について、他者との関わりや絆の中で生きる者としてのあり方をポイントに置き、一番身近な関係特に家族、兄弟、友人との関係を見つめ直してみようか。(1)

第3回 教区全司祭集会



ローマ留学の修士論文を発表する船津神父

今年度第3回福岡教区全司祭集会が、11月25日大名町教会で開催された。はじめに、聖ドミニコ修道会会員で日本語の勉強を始めるヨハネ・ペレイラ助祭の紹介が行われ、祈りをもって開会した。

午後、実施3年目になる日本語ミサの「新しい式次第」の振り返りを分かち合った。アペイヤ司教からも、典礼を丁寧かつ創造的に行うこと、侍者はまず子どもが、いなければ女性も含めた大人が奉仕職の一つとして行う方がよいなどの意見を述べられた。そのほか、マルセル・コース神父

に感謝の気持ちを表した。アペイヤ司教からは、「ローマでの生活も奉仕の一つ」と言われていたため、今回の発表も奉仕の一つと述べ、留学生活の様子を紹介し、論文として選んだ創世記のヤコブの夢の箇所から、聖書神学に基づく分析方法を説明した。質疑応答では、ヘブライ語で聖書原文を聴きたいとの先輩司祭からの要望で、船津神父がすらすらと読み始めると司祭たちから感嘆の声が上がった。午後は、実施3年目になる日本語ミサの「新しい式次第」の振り返りを分かち合った。

福岡教区創立100周年に向けて

2027年7月16日、福岡教区は創立100周年を迎えます。これを受け、教区報では、各小教区や団体が100周年に向け取り組んでいること、心がけていることなどについて具体的な活動を紹介していきます。「創立100周年」の情報は右記QRコードからご覧になれます。



巡礼指定教会の取り組み 7. 浄水通教会

スタンプ、オリジナルポストカード、聖霊の続唱カードを準備



福岡教区創立100周年を迎えるにあたって、浄水通教会は二つのことに心をとめています。教会というとき、どちらかと言えば聖堂を思い浮かべますが、草創期の信者は「この道の者」と言われました。イエスを神、救い主として信じていた私たち。浄水通教会は「イエスを信じている私たち」のことで、聖堂はイエスと出会い、イエスにおいてお互いが出会う「場」とあると思っています。「自分たちが教会である」、「自分たちの教会は自分たちの手で」という目標のもとに自主的に行動し、分かち合いの場を持つようになっています。教会の現状を見つめたり、信仰体験を話してもらい、自分たちの信仰を見つめなおし、未来に向かっての心構えを持つよう努めています。これからもこのような分かち合いが計画されています。

また、「巡礼指定教会」になってから、団体、グループ、あるいは友だち関係の人たちが教会を訪れています。聖櫃の前で立ったり座ったりして聖歌を歌ったり、祈りを唱えたりされています。教会の歴史とか、信仰者としての体験を話すこともあります。そして、聖堂の外観や内部を撮って、記念にしている様子が度々うかがえます。

聖堂は聖霊に奉献され、閑静な場所にあり、築70年を超えています。地震にあたりして度々修復していますが、「静かで落ち着いた雰囲気」とか、「教会らしい教会」、「スタンドグラスがいいね」という声を耳にします。これからも地域に根ざした教会でありたいと思っています。

主任 牧山勝美 神父

海を越え 心と心を繋ぐ日韓交流

海は陸地と陸地を隔てているのかもしれないが、心と心を隔てるものではない。無数にあるであろう両国交流のひとつとして、今年で27回目を迎えた日韓の司祭の交流もそれを教えてくれている。現在日本で司祭を行う韓国人司祭も40人を超える。彼らの親睦交流会も、6年ぶりに旧カトリック神学院で開催された。

日韓司教交流会

例年通り、今年も日韓司教交流会が11月17日から20日まで行われました。戦後と原爆投下から80周年ということと、今年の交流会は広島で開催されました。ほとんどの司

(パリ)外国宣教会念帰国後の美野島司牧センターの活動状況が運営委員長の飛永薫氏より説明され、引き続き物的霊的支援が要請された。また、青年たちの仁川教区訪問報告、福岡カトリックの創設や障がい者支援について説明があり、福岡教区をしばしば離れる新求道共同体のヘスス・ロドリゲス神父、管区長就任のため福岡教区を離れる聖ドミニコ修道会のマリアーノ・ゴンザレス神父のことも紹介された。

大変有意義な交流会を体験しました。ヨゼフ・アペイヤ司教 ※日韓司教交流会の様子を、下記QRコードからご覧になれます。



大名町教会で韓国から到着した司教団を出迎える 広島教区の白浜満司教(右から2人目)とアペイヤ司教(右)

教は福岡に集まって、福岡カトリックセンター・大名町教会で昼食をとってから山口市宇部市へ出発しました。

そこでは長生炭鉱水没事故の現場を訪れ、多くの朝鮮半島の方々を含めて命を失った事故について説明を受け、遺骨収容プロジェクトの紹介にも耳を傾けました。そしてともに祈りを捧げたのです。広島では、原爆の恐ろしさを感じ起しなが、国籍を問わず命を奪われた人々の苦しみを思いこくでも祈りを捧げました。そして一同、朝鮮半島出身の犠牲者の記念碑の前に、人権を守り平和のために諦めず働く決意を改めて確認しました。また、2027年の8月にソウルで行われる

日本で司祭する 韓国人司祭の集い



宣教師として初心新たに

WYD(世界青年の日)大会の準備について報告を受け、お互いの協力を探ったりと大変有意義な交流会を体験しました。ヨゼフ・アペイヤ司教 ※日韓司教交流会の様子を、下記QRコードからご覧になれます。

12月1日から2泊3日の日程で、旧福岡カトリック神学院において「在日韓国人司祭の集い」が開催されました。前回の広島教区(下関)での開催以来、新型コロナウイルス感染症対策のためにより長く中断を余儀なくされていましたが、今回6年ぶりの再開が実現しました。全国から23人の司祭が福岡の地に集まりました。久しぶりの再会を喜ぶ声と共に、今回が初参加となる司祭も半数を数えました。期間中、参加者たちは日本での司祭における喜びや苦勞、宣教師としての体験を分かち合いました。最終日には、福岡教区のヨゼフ・アペイヤ司教の司式によりミサが捧げられました。この日は「日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル」の祝日にあたり、司祭たちは宣教師としての初心を新たにしました。 ジョン・ウォンチョル神父・韓国テグ教区司祭(戸畑・若松教会主任)

主のご降誕と新年のお慶びを申しあげます

- 教区長 ヨゼフ・アペイヤ
名譽司教 宮原 良治
司教総代理 中村 彰
教区本部事務局長 十時 伸治
教区本部会計 青木 悟
司教館(日本語研修) キム・ドウカン
ファン・フオン・フオン
(引退) 渡辺 隆義
【福岡地区】
山頭原 太郎
島山 七郎
平田 敬
糸島 R・フィリピーニ
山口 好信
(協力、鹿児島教区)
大楠 D・ジョンソン
古賀 O・ベルナルド
W・マヘル
S・サミット
L・オドヘティ
桑原 篤史
牧山 勝美
田中 重治
浄水通 牧山 勝美
大名町(能古島) 田中 重治
ファン・ヴァン・チュエン
高宮 K・プラビン
T・サンタム
茶山 R・フィリピーニ
西新 十時 伸治
箱崎 G・マリアノ
ルカ・ジョン・ソクケン
(助祭) ヨハネ・ペレイラ
光丘 船津 亮太
吉塚(南粕屋) 寺浜 亮司
老司 大山 悟
(管理者、サン・スルピス司祭会)
聖パウロ修道会 大西 徳明
旧カトリック神学院
(サン・スルピス司祭会)
牧山 強美
Q・ベルナルド
熊川 幸徳
美野島司牧センター
D・ジョンソン
大濠会館・宣教養成センター
R・フィリピーニ
【筑後地区】
今村・本郷 浦川 務
中尾 直通
(協力、サン・スルピス司祭会)
川上 惣一
小郡 岩下 和樹
(長崎大司教区)
久留米 宮崎 保司
二日市 竹森 勇
雪の聖母会・聖マリア病院
G・ピアッツィニ
聖マリア学院大学
ケン・スレイマン
【北九州地区】
飯塚・田川 キム・ソンチョン
黒崎・天神町 杉原 寛信
小倉 青木 悟
新田原 谷口 尚志
戸畑・若松 ジョン・ウォンチョル
水巻 B・ロザイロ
直方 ルーカス・レック
門司 キム・ジョンギン
湯川 イム・ドンビン
行橋(豊津) 下町 豊重
伊万里・多久 S・リチャード
I・ハヌン
鹿島・武雄 イ・ハヌン
唐津 江夏 國彦
佐賀 牧山 美好
鳥栖(基山) 岩下 和樹
呼子(松島)・馬渡島 D・アルビン
トラピスチヌ 岡崎 才藏
(熊本地区)
荒尾・玉名 C・クラウディオ
武蔵ヶ丘(恵楓園) 平田 三好
崎津・大江・本渡
手取・帯山 井手 公平
櫻井 尚明
シン・トウキ
菊池(山鹿) S・ダロイト
健軍(高遊原) 中村 信哉
島崎 A・トウルコ
人吉 F・マツケイ
八代・水俣 H・オカロール
真命山 C・クラウディオ
S・フランコ
スペイン・マドリッド教区から
ヘスス・C・ロドリゲス

サンパウロ 福岡宣教センター
営業時間: 10:00~18:00
定休日: 日曜日・祝日
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る
株式会社 みこころ舎
問合せ 050-3032-1333

教区創立100周年委員会

教区創立100周年準備企画 上演劇「ヨブ記～K氏の場合」

期日：2026年2月23日（月・祝）
場所：カトリック大名町教会大聖堂
時間：13時開演 終了後 感謝ミサ



福岡教区100周年行事専門委員会では、教区創立100周年準備企画として分ち合い劇【ヨブ記～K氏の場合】の上演を行います...

劇終了後、参加者それぞれにヨブ記への思いを文字にいただき、これを、引き続きアベイヤ司教様司式によって捧げられる感謝ミサの中で奉納することを計画しております。

2027年に福岡教区創立100周年を迎えるにあたっていろいろな計画が企画準備されています...

- (1) 100周年記念ミサは2027年7月4日(日)、会場はマリネット福岡B館。
(2) 典礼委員会では記念ミサの会場設定、進行などについて検討を開始。
(3) 広報委員会ではオンライン...

第3回 司祭不在のときの主日の集会祭儀 「司会者」養成講座



講師の櫻井神父

11月16日、大名町教会において開講された本講座では、講師の櫻井尚明神父(手取・帯山教会主任)がユーモアを交えながらも、原点ともいえるべき問いを投げかけた。それは「信徒とは何か」ということである...

「神様の愛を思い起こし、味わおう」
「イエスとともに」
「静かに「自分自身」を傾ける時間を目的に企画し、青年8人、講師2人、福岡地区青年会担当のルカ・ジョン・ソックン神父様(聖ドミニコ修道会・箱崎教会助任)の合計11人が参加した。...

参加者からは「静かな黙想の中で、神様がそばにいてくださることに改めて気づき、心強く感じた。毎日繰り返される生活の中で、いつのまにか神様から心が離れてしまうこともある。だからこそ、黙想会のような祈りの時間を少しでも持ち、神様が共にいてくださることを感じながら、神様に頼りつつ、私も小さくても愛を実践していきたいと思つた。...

11月22日、大濠カトリック会館・宣教養成センターにて、女性の会主催の一日黙想会を行いました。ヨゼフ・アベイヤ司教の同伴で、50人ほどが参加しました。...

安藤さんの実体験による講話「私の分岐点と選び」、牧山神父様からは「イエスはすべての人の道」として、「自由とは何か」「愛とは何か」といった哲学的な講話を聞き、黙想と分かち合いを重ねた。最後は聖体顯示が行われ、イエス様との交わりを持つて終了した。

3年目に突入！女性の会の黙想会
福岡地区カトリック女性の会主催
「分ち合いで皆さんのそれぞれの言葉を聞きながら、神様への向き合い方を改めて考えた。司教様のお話ほど心に響いた。『イエスの受難と死は、最高の従順と愛のしるしです。』信仰とは、イエス様が歩まれたこの信じる道を、どう表して生きていくかと問うことと黙想した」

「以前のよう、講話を聞きミサに与るといふ形式ではなく、分かち合いを含めた気づくことへの導入を大切にすべく、分ち合いに込められた新たな気づき、理解の深まりを頂くことができました。女性の会、司教様、心よりお礼申し上げます」
皆様も一度参加されてみませんか。
福岡地区カトリック女性の会
会長 荒川 優子

♪ウクライナ人道支援 チャリティーコンサート♪



(左から) ピアノ：井上友里子氏、バリトン：横山浩平氏、ヴァイオリン：桑田幸美氏、トロンボーン：永山千尋氏

11月23日、今年も南粕屋教会(寺浜亮司神父)では、今なお続く紛争のため祖国から避難をしているウクライナの方たちを招き、4回目となるチャリティーコンサートが開催された。...

Advertisement for 'Dorosan' (ド・ロさま) spaghetti, including contact info for Sanfreed Dorosan Noodle Factory.

Advertisement for St. Maria Hospital (聖マリア病院) and St. Maria Helth Center (聖マリアヘルスケアセンター).

「QRコード」という名称は、デンソーウェーブの登録商標です。

### 年間目標 『未来に開かれた教会』となる

## 教区創立100周年のミサを「緑色」で埋め尽くそう！！

100周年のロゴの入ったTシャツ・ポロシャツができました。詳細は各教会にお知らせしています。

創立100周年記念ミサ当日だけでなく、今からでも折に触れ袖を通し、気持ちを一つにして2027年7月に向け歩んでいくことができますように。



### 一緒に聖書の理解を深めてみましょう～ 聖書勉強会

毎月 第2・第4水曜日  
午前の部 10:00～11:00  
夕方の部 19:00～20:00

[1月の日程] 1月14日(水) 1月28日(水)  
[ファシリテーター] ヨゼフ・アペイヤ司教(福岡教区長)  
[場所] カテドラル大名町教会  
[問合せ先] ☎092・741・3687(大名町教会)  
※2026年1月から始まる聖書勉強です。  
どなたでも参加できます。

### テゼの歌を用いた黙想と祈りの集い ～キリスト教一致祈禱週間(1月18日～25日)に思いを寄せて～

[主催] 宣教養成委員会  
[日時] 1月22日(木) 19時半～約1時間  
[場所] 大名町教会小聖堂  
ろうそくを見つめ、テゼ共同の短い歌を繰り返し歌って祈ります。  
キリスト教一致のために祈りを捧げ、黙想する時間を過ごしませんか？

### 大名町教会 ホームレス支援 スープの会

2月から3月の2週目までの毎週金曜日に炊き出し

**調理ボランティア**  
14時～ 大名町教会 1階厨房

**夜回り(配布)ボランティア**  
19時 初参加者レクチャー  
20時 夜回り準備(袋詰め)  
20時半 参加コース確認  
21時 各コース夜回り出発

**献品**  
テレホンカード、防寒着、冬服、新品の下着・靴下、リュックサック(大)

**問合せ先**  
☎080・1793・0481 深堀  
☎080・4317・4152 飛永 ☎090・8412・7803 前田

### 召命を共に祈る会

**福岡地区** 1月20日(火) 13時30分～ 大名町教会  
ミサと分かち合い 司式:船津亮太神父(光丘教会)  
[問合せ先] ☎090・6422・2257(山口)

**北九州地区** 1月10日(土) 14時～ 小倉教会  
ミサと茶話会 司式:鄭元喆神父(戸畑・若松教会)  
[問合せ先] ☎0949・24・9905(藤井)

**熊本地区** 1月15日(木) 9時30分～ 健軍教会  
ミサと分かち合い 司式:中村信哉神父(健軍教会)  
[問合せ先] ☎096・369・8896(松上)

### 各種団体の定例会

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報1月号」、または右記QRコードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス  
https://fukuoka.catholic.jp  
E-mail:cdf-kouhou@nifty.com

## 案内板 会合と催し 1月のこよみ

### 福岡教区創立100周年に向けて かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう！  
**2027年7月16日まで** あと**18**ヶ月

2025～2026年7月  
テーマ：未来に開かれた教会となる

様々な記念企画が具体化し進行しています。  
2027年7月4日(日) 創立100周年記念ミサ  
会場はマリンメッセ福岡B館です。「緑色」のTシャツ・ポロシャツで会場が埋め尽くされますように。  
(左欄をご覧ください)

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：祈りの人々と出会う「主はご自分の親しい人に御旨を示される」(詩編25・14)

日時：1月8日(木) 10時～15時  
内容：アブラハム：執り成す人  
「アブラハムは主の前にとどまった」

次回：2月12日(木)  
内容：モーセ：呼びかけに応える人「ここにおります」

問い合わせ先：真命山諸宗教対話センター  
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186  
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7  
E-mail shinmeizan@gmail.com  
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 【1月】**
- 1日(木) 神の母聖マリア 世界平和の日  
ミサ 主司式(大名町教会)
  - 4日(日) 主の公現 貧しい協働体ナザレの家 司牧訪問
  - 11日(日) 主の洗礼 帯山教会司牧訪問
  - 16日(金) SH委員会会議(ZOOM)
  - 18日(日) 年間第2主日 武蔵ヶ丘教会・恵楓園司牧訪問  
キリスト教一致祈禱週間(～25日)  
キリスト教一致祈禱会(福岡聖パウロ教会)
  - 20日(火) 教区司祭評議会、顧問会(大名町)
  - 24日(土) 大江・崎津・本渡教会司牧訪問(～25日)
  - 25日(日) 年間第3主日 神のこぼの主日  
世界子ども助け合いの日(献金)
  - 27日(火) 教区全司祭集會(大名町)
  - 30日(金) 福者小笠原玄也一家殉教記念日
  - 31日(土) 教区主催・世界奉獻生活の日 感謝ミサ 主司式(大名町教会)
- 【2月】**
- 1日(日) 年間第4主日 荒尾教会司牧訪問  
教区宣教司牧評議会
  - 2日(月) 主の奉獻 世界奉獻生活の日
  - 5日(木) 日本26聖人殉教者
- ゴシックは司教日程

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。

集いの詳細は、  
各問合せ先に  
お尋ねください。

- 美野島司牧センター
- ホームレスの方に温かい食事と衣類 毎週火曜日10時
- ホームレス支援炊き出し 毎週金曜日
- 調理14時 夜回り21時
- 路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時
- 問合せ先 ☎092・4331

1419 ジョンソン・デソーザ神父

大濠カトリック会館・宣教養成センター

ミーアサロン大濠 第1・第3水曜日10時

問合せ先 ☎092・753

6765 角田

みことばのお弁当 第4木曜日10時

問合せ先 ☎092・753

6765 大濠カトリック会館

福岡教区人事異動

◆S・サミット助祭オペレーター会 小郡・鳥栖教会協力(3月まで)

編集後記

「ベトナムの方のカップルの結婚式をします。新郎新婦のリクエストで全て日本語がいいとのこと。彼らは一生懸命練習し、信徒はいつもの如く手作りで頑張って準備して

### Lễ cưới được cử hành bằng tiếng Nhật (日本語で行った結婚式)

Anna LÊ THỊ CẨM TÚ & Yosef NGUYỄN MẠNH GIANG (Viet Nam)

Tâm tình khi bước vào đời sống hôn nhân (結婚生活への思い)

Chúng tôi xin tạ ơn Chúa vì đã dẫn dắt hai đứa trẻ gặp gỡ, tìm hiểu và quyết định cùng nhau bước vào đời sống hôn nhân. Khi chuẩn bị cho lễ cưới, chúng tôi cảm nhận rất rõ sự hiện diện và gìn giữ của Chúa trong từng việc nhỏ. Quyết định kết hôn đối với chúng tôi không chỉ là sự gắn bó của hai con người, mà còn là lời hứa cùng nhau xây dựng một mái ấm đặt nền tảng trên tình yêu thương, sự tha thứ và lòng tin tưởng vào Thiên Chúa.

Chúng tôi mang trong lòng niềm vui lớn lao, nhưng đồng thời cũng ý thức trách nhiệm của đời sống gia đình. Cả hai cầu xin Chúa ban cho sự khôn ngoan và kiên nhẫn để có thể đồng hành với nhau trong mọi hoàn cảnh, và để luôn biết gìn giữ tình yêu này bằng những điều nhỏ bé mỗi ngày.

### Lý do quyết định tổ chức đám cưới bằng tiếng Nhật (日本語で結婚式を行うと決めた理由)

Chúng tôi là vợ chồng đã sống ở Nhật Bản lâu năm, và các mối quan hệ được xây dựng ở Nhật Bản rất quan trọng đối với chúng tôi.

Khi lần đầu tiên đến thăm Nhà thờ Công giáo Minamikasuya, mọi người đã chào đón chúng tôi rất nồng nhiệt, không khí ở đó rất thoải mái, và chúng tôi đã rất thích nơi này. Vì vậy, chúng tôi muốn tổ chức đám cưới bằng tiếng Nhật để trực tiếp truyền đạt lòng biết ơn đến tất cả mọi người ở Nhật Bản, những người đã hỗ trợ chúng tôi cho đến nay.

### Lễ thành hôn và những cố gắng trong tiếng Nhật (結婚式と日本語での努力)

Ngày cử hành hôn lễ là một ngày thật đặc biệt và đầy cảm xúc. Chúng tôi đã cố gắng chuẩn bị thật kỹ càng để thực hiện nghi thức bằng tiếng Nhật cho trang trọng và đúng với truyền thống của giáo hội tại đây. Tuy có những lúc còn hồi hộp và lo lắng, nhưng nhờ sự giúp đỡ của quý cha, quý thầy cùng mọi người trong giáo xứ, buổi lễ đã diễn ra thật ấm cúng và trọn vẹn.

Việc sử dụng tiếng Nhật trong các phần của hôn lễ cũng là một thử thách lớn đối với chúng tôi, nhưng chúng tôi đã nỗ lực học từng câu, từng lời cầu nguyện để thể hiện lòng tôn trọng đối với giáo xứ và đất nước nơi chúng tôi đang sinh sống. Nhờ sự nâng đỡ của mọi người, chúng tôi đã có thể hoàn thành nghi thức một cách tốt đẹp.



福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口  
電話 080-2694-4182  
受付時間 月～金(祝日を除く)  
10:00～12:00 13:00～16:00